



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



鹿屋 戦争を風化させない

9月4日、高須町民会館で「戦争を風化させない 平和を語る会」が開催されました。

同会では、金浜海岸にある「進駐軍上陸地の碑」の前で黙祷した後、高須町民会館に移動して参加者が自らの体験談を披露。進駐軍が上陸した話、日本軍の飛行機が墜落した話などが語られ、参加者は戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて考え直していました。



民泊の受け入れ家庭に手作り看板

9月3日、市中央公民館で看板贈呈式が行われ、かのやツーリズム推進協議会に、杉の板で作られた看板68枚が贈られました。看板に揮毫したのは、鹿屋女子高校と鹿屋高校の書道部の皆さん。修学旅行生の民泊を「おもてなし」する市の取り組みに快く協力。部員の皆さんが、1枚1枚、心を込めて揮毫した看板は、市内の受け入れ家庭に置かれます。



地域を知るための防災マップを作成

9月1日「防災の日」に、吾平振興会館で、鹿屋、吾平地区の5町内会から住民や消防団員など約60人が参加して、防災マップ作成研修会が開催されました。

研修会では県地域防災推進員による講話のあと、地域内の危険箇所の把握や一人では避難できない要援護者の所在などを住民同士で意見交換をしながら、地域独自の防災マップを作成しました。



日本の教育制度を学ぶ

9月8日、ミャンマーで防災教育コースを受講している生徒15人が市役所を訪れました。

この研修は、毎年多くの自然災害で被害を受けている同国が、日本の防災対策や教育制度を学ぶことを目的としています。研修生は、桜島防災センターなどを訪問したほか、日本の教育制度や大隅とミャンマーとのつながりなどの講義を真剣に学んでいました。



親子で種まき、収穫を楽しむ

9月6日、下祇川町のふれあい農園で親子農業体験が開催され、約30人が参加しました。

この行事は、食育の一環として実際の農作業を通じて、食べ物を大切にする気持ちを育んでもらうために行っています。

当日は人参や桜島大根の種まき、ナスやオクラの収穫が行われ、参加者は快晴の空の下、農業を楽しんでいました。



ゲートボールで世界に挑む

9月5日、8月に開催された内閣総理大臣杯第31回全日本世代交流ゲートボール大会で優勝した「佐多キング」のメンバーの郡山宗大さん、佳子さん夫婦が市役所を表敬訪問しました。

二人は「日頃の練習が結果に結びついてよかった」と話してくれました。9月26日から開催される世界大会にも出場予定で、活躍が期待されます。